

目 的

放送用周波数の活用方策に関する検討分科会（以下、「分科会」という。）で取りまとめた「V-Low帯域の利活用方策に関する基本方針（案）」を踏まえ、V-Low帯域の利活用方策の一つとして自治体等から提案されたFM防災情報システムとFM路側通信システム（以下、「FM防災情報システム等」という。）について、利用形態や機能要件等に関して検討を深めるため、防災関係機関や自治体、送受信機メーカー等からなるワーキンググループ（以下、「V-Low帯域の防災利用に関するワーキンググループ」と称する。）を分科会の下に設置（※）し、所要の検討を行うこととする。

※ ワーキンググループの設置は、分科会の開催要綱（以下、開催要綱抜粋）に基づき設置するものである。

4 構成及び運営

（5）分科会長は、必要に応じ、ワーキンググループ等を開催することができる。

（6）ワーキンググループ等の構成員及び運営に必要な事項については、分科会長が定めるところによる。

検討事項

- （1）自治体等によるV-Low帯域の防災利用ニーズ
- （2）既存の防災システムの中でのFM防災情報システム等の位置付け
- （3）利用形態・機能要件
- （4）その他関連事項

検討体制

別紙「V-Low帯域の防災利用に関するワーキンググループ構成員（案）」のとおり

【別紙】V-Low帯域の防災利用に関するワーキンググループ構成員（案）

敬称略・五十音順

	氏名	所属・役職
(主査)	伊東 晋	東京理科大学 理工学部 嘱託教授
	岩田 昭光	NHKテクノロジーズ 公共システム部専任部長
	大野 秀樹	東芝インフラシステムズ株式会社 放送・ネットワークシステム部 フェロー
	小澤 光興	長野県塩尻市 企画政策部デジタル戦略課 参事
	唐木 太一	日本無線 技術統括部 新技術推進グループ 担当課長
	近藤 広幸	サムウエイ 技術部 技術二課
	椎木 裕文	日本電気 第一都市インフラソリューション事業部 マネージャー
	鈴木 陽一	東北文化学園大学 工学部知能情報システム学科 学科長・教授
	関根 かをり	明治大学 理工学部 教授
	高田 潤一	東京工業大学 副学長(国際連携担当)・環境・社会理工学院 教授
	竹本 吉利	総務省消防庁 国民保護・防災部防災課防災情報室 課長補佐
	田村 幸一	電子情報技術産業協会(JEITA)カーエレクトロニクス事業委員会委員長
	豊嶋 茂一	宮城県多賀城市 市長公室 ICT推進室
	中村 淳一	国土交通省 大臣官房技術調査課電気通信室 企画専門官
(オブザーバー)	平山 貴代	電波産業会(ARIB) 防災行政無線システム作業班 主任
	峰吉 俊幸	日本通信機 技術部グループリーダー
	宮下 敦	日立国際電気 事業企画本部 主管技師長
	(人選中)	日本自動車工業会(JAMA)